

平成27年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,320	1,632	311	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	161	218	57	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	60	71	10	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	17	17	-	
自己収入	1,317	1,303	△14	
授業料、入学金及び検定料収入	1,281	1,252	△29	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	9	9	(注5)
雑収入	35	41	5	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	41	139	97	(注7)
引当金取崩	-	13	13	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付金回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	24	34	10	(注9)
計	2,942	3,430	487	
支出				
業務費	2,661	2,968	306	
教育研究経費	2,661	2,968	306	(注10)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	178	235	57	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	60	66	5	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	41	78	36	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	4	4	(注14)
計	2,942	3,353	410	
収入-支出	-	76	76	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したこと、及び特別運営費交付金の追加交付があったこと等により、予算額に比して決算額が311百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が57百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が29百万円少額となっております。
- (注5) 財産処分収入については、緑1丁目宿舍の土地一部を売却したため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費補助金の獲得に努め間接経費を受け入れたことにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金の獲得に努め当初の見込みより多くの寄附を受け入れたため、予算額に比して決算額が97百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、PCB廃棄物処理に伴い経費相当分を取り崩したこと等により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の増加により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、(注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が306百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が57百万円多額となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっております。
- (注14) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、財産処分収入の一部を施設費納付金として国立大学財務・経営センターへ納付したため、予算額に比して決算額が4百万円多額となっております。